

11月6日 鎌ヶ岳

藤村 敏幸

山名	鎌ヶ岳	山行名	鎌ヶ岳登山		
ルート	武平峠駐車場～鎌ヶ岳～衝立岩～武平峠駐車場～湯の山温泉				
山行日	令和3年11月6日	天候	晴れ		
参加者	CL 藤村 SL 木田 会計 玉置 秋山 幾田 蒲田 上杉 河野 佐々木 今村 川上				
湯の山温泉 ↑ 武平峠駐車場 ↔ 鎌ヶ岳		コースタイム			
		地名	時:分	鎌ヶ岳発	11:30
		武平峠登山口発	8:40	武平峠駐車場着	14:30
		鎌ヶ岳着	10:40		
10月になり天候が安定し、この日も晴れで爽快に新名神を走り鈴鹿山系の山並みも鮮明で菟野 IC から三角形の鎌ヶ岳を見つけることができた。湯の山温泉を通過すると、コロナ禍が終わり晴天の土曜日で、登山客で大混雑しており、武平峠までの路肩の空き地には車が列をなし駐車していた。峠を越え滋賀県側まで 600mほど下り駐車する。登山客も多く、頂上も混雑しており昼食場所を確保するのに苦労する。鎌ヶ岳から衝立岩方面に向かうため、鎌ヶ岳南側を下るが、いきなり岩ばかりの急斜面で北側からの登りと大きく様子が異なり、このルートは案内されていた体力度1, 技術度1ではないとの意見がもれ聞こえた。振り向くと衝立岩からまた戻るので斜面の途中で帰りを待つ方もおられ、そのまま進むとパーティーが別れるので急斜面の下の鞍部から引き返す。予定よりかなり早く武平峠に戻る。その後は湯の山温泉の源泉かけ流し日帰り入浴を1時間もして帰る。					
ヒヤリハット なし					

鎌ヶ岳 感想 佐々木 康治

「関西の槍」と呼ばれる鎌ヶ岳、鈴鹿山系ではひととき目立ち、誰もが登攀意欲にかられる。今日は秋晴れの土曜日、武平峠は駐車場はもとより道路脇の僅かなスペースに夥しい車。コロナもようやく下火、もう大丈夫だろうと長らく「不要不急の外出を自粛」していた人々がたまっていたストレスを発散させるために山に繰り出している。

藤村号、幾田号、木田号に11名が分乗、女性8男性3と最近では女性上位、山道はファッション性豊か。山肌もカラフルで、緑、黄、茶、赤、そして白砂と露岩が雪のよう、「きれい!」「うつくしい!」の歓声が方々である。急峻な登り坂を一歩一歩慎重に足を運ぶとあっけなく頂上へ。360度のパノラマ、御在所、雨乞、綿向を眺めながらの昼食がおいしい。時間的に余裕たっぷり、麓のGreen Hotelの露天風呂で四肢を伸ばしまさに悦楽のひと時。ペース配分も抜群、賑やかな女性軍の笑い声の絶えない楽しい一日、臨機応変に対応してくれた藤村さん、陰に陽に支えてくれたサブの木田さん、KamikazeDriverの幾田さんのトリオに感謝感激。



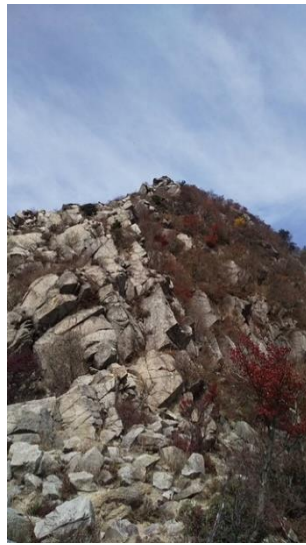
幾田 邦江

今回の鎌ヶ岳山行は、危険度、安全度の星が1つだった事と、高低差約250mという事もあって参加させて頂いた。思っていた以上に岩場だった為、足が竦んだが、私の前を年配の女性の方々が力強く登っていらっしやった為、勇気を頂いて頑張れた。Y懸で初心者の為に特別指導して頂いた指導者の方々の顔を思い出しながら、呪文のように「三点支持、三点支持」と呟いた。

「ここは後ろ向きに下りて！」の指示あり。足が着かない！必死に登ったり下りたりしていると、徐々に楽しく感じられた。御在所岳にも行きたいとの声あり。私は、進んで手は挙げなかったが、いつか進んで手を挙げれるようになりたいと思った。



北側斜面の紅葉



北側の岩稜



岩場順番待ち



頂上到着時



下りの急斜面